

令和5年度 ● 審判講習会

令和5年4月2日
若林体育館



令和5年度に向けての審判講習会に、各チームから102名の会員が参加された。講師は、日本ミニテニス協会公認審判員の阿部勝彦審判長。午前は理論、競技規則について要点を詳しく解説。続いて丹野克之理事長から、対戦表・記録表記載手法などの説明があった。



午後は、試合形式による審判方法。
主審・副審・線審の実技。「公平性・正確性・ハンドリング」など選手のプレー環境を確りと確保できるかを習得できたようだ。

仙台市 市民総合体育大会

仙台市ミニテニス協会第27回大会 カメイアリーナ仙台市体育館



開 会 式

仙台市 市民総合体育大会「仙台市ミニテニス協会第27回大会」が4月16日、カメイアリーナ仙台市体育館で開催された。

コロナ過のパンデミックにより全ての文化が抑圧され、当協会においても会の運営・大会・研修会・講習会等々の自粛を余儀なくされ久々の公式大会（部制対象外）となった。

試合は各部4試合6ポイント3セットマッチ、選手たちは温かい声援を背中につけて、楽しみを分かち合いながら年代を超えた戦いに心地良い汗をながした。

参加率は当時の60パーセント30チーム210名だった。選手たちにとっては久々の大会。プレー中のマスク着用は自主制。試合後はマスク着用など、感染症対策を自主的に講じていたようだ。



連坊 斎ひろ子選手の 強烈なサーブ

競技は整然と運営されたが、今後ウイズコロナでの大会、参加者拡大が課題だ・・・

春季大会

仙台市ミニテニス協会
R5.4.30 宮城野体育館



ゴールデンウィークの初日。参加チーム数が懸念されたが34チームのエントリーがあった。試合では、選手たちはいかにコースを狙えるかがポイント。卓越したスピードに加え広い視野から繰り出す攻防に、観衆から幾度となくため息と歓声が上がっていた。



試合の終わった部から、随時競技委員長の成績発表後解散。これも感染症対策の一つである。



コロナ過も5類移行となつたが、終息はまだまだ先であり、感染症対策は確りと講じながらの運営。

仙台市ミニテニス協会・夏季大会



1部 荒町チーム — やまがたFチームの対戦、荒町 阿部茂樹選手の強烈なサーブ

仙台市ミニテニス
協会夏季大会

令和5年7月22日

(土) 仙台市青葉体育館
で開催された。

試合は部制による1部
〜4部。コロナ過の中、
医療従事者等々を考慮し
昇降格無しの大大会が続
いている。

今大会も26チームの
エントリー、20年前、平
成15年当時の大会規模、
これからも「ウイズコロ
ナ」で感染症対策を適切
に講じつつ愛好者・会員
の拡大・仙台市ミニテニ
ス協会の更なる発展を目
指し、協会運営・大会運
営

を皆さんと共に推進を
思っている。

大会は、和気あいあい
の中坦々と進行。ボール
が円盤に見えるほどの強
烈なスマッシュ・切れ味
のあるスライス・前後左
右に変化させる技の応酬、
互いに譲らぬ攻防は迫力
満点・・・館内はナイス
プレー・ドンマイ等々温
かい声援が飛び交ってい

た。

会場は冷房がかかって
おり、選手たちもプレー
に集中できたようだった。



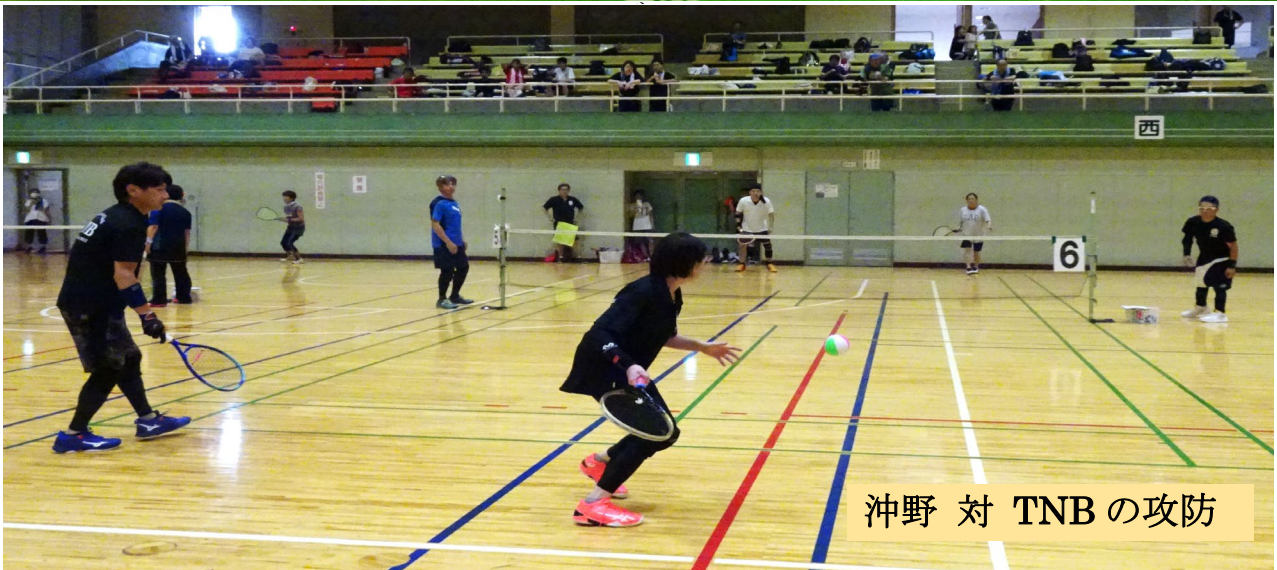
今大会も各部の昇格・
降格は採用なしで通常の
表彰式は行わず、各終了
部毎、斎ひろ子競技委員
長の成績発表後随時解散
となった。

これもコロナ感染症対
策の一環としての運営。

開
会
式



若林区民ふるさとまつり
スポ・レク・フェスタ



沖野 対 TNB の攻防

スポ・レク・フェスタ ミニテニス大会（若林区 まちづくり協議会）主催、（仙台市ミニテニス協会）主幹が令和5年9月10日、仙台市若林体育館で開かれた。

市内の愛好者1部々4部までのチームが参集。残暑厳しい中体育館は意欲あふれる選手たちで熱気にあふれていた。

主催団体・主幹団体の挨拶に続き、各コート一斉にプレーボール。和気あいあいの中、まつりにふさわしい大会が開催された。

試合は女子、混合、男子の3ダブルスで編成する4部制の団体戦。各部門も1チーム4試合を戦う「特別リーグ戦」を行い、ブロック1位同士が優勝を争った。

試合は予選からフルセットにもつれる試合が続出し、卓越したスピードや多彩な攻防などレベルの高い試合に、応援団から盛んな歓声が飛び交っていた。



閉会式



試合前の一時

仙台市ミニテニス協会秋季大会



R5 年 11 月 3 日 冬季大会（仙台市青葉体育館）参加 40 チームの開会式



協会の公式大会、4部制による団体戦は9：45、10コート一斉にプレーボール。
今期はコロナ過による特別ルールを適用、「大会ごと昇降格」が決定するので選手たちは予選から気合のはいったプレーが随所に見られ、強烈なサーブや破壊力のあるスマッシュの攻防に応援団から盛んな声援が飛び交っていた。15：30全試合が終了、ネット撤収後閉会式（成績発表）後、15：45解散。



パワー炸裂、渾身の力をぶつけ合う選手たち。観ている側も気持ちがかさとする。

全国ミニテニス交流仙台大会(団体戦)



3・11震災復興元年を機に開催した「第12回国ミニテニス交流仙台大会(団体戦)」が令和5年11月26日、仙台市宮城野体育館で開かれた。

これは偏に日本ミニテニス協会始め、関係機関のご理解に感謝申し上げます。次第です。

開会式では、日本ミニテニス協会顧問 土屋品子様の激励文を代読、続いて選手宣誓後熱戦が展開された。

試合は6ポイント2セットマッチ、B部門60才以上1ブロック、A部門フリーは4ブロックに分かれブロック毎予選6試合を行い、上位B部門4チーム、A部門6チームが決勝トーナメント戦に進出した。

試合は予選からヒートアップ、強力なスマッシュの攻防・コースを狙う巧みな技に加え繊細な動きをする変化球等に魅了され、館内は温かい声援が飛び交っていた。



A部門 優勝 川口ブキウギ



B部門 優勝 秋田ジャンブルス 60



選手宣誓



開会式

実技講習会



講師は、日本ミニテニス協会公認指導員・審判員（仙台市ミニテニス協会役員）が担当。30グラムの直径12センチ軽くて大きなボール、それなりのパワーとスピンの重要・・・」

グリップの握り方や構えの姿勢、フットワーク・体幹を使うにはテイクバックと左手の使い方が重要等と説明、続いてサーブの打ち方やドライ

ら当体育館をご利用いただき感謝しております。本日の講習会でしっかりと技術をマスターされ、各種大会で発揮して頂ければ幸いです・・・」とご挨拶。



仙台市若林体育館主催のミニテニス実技講習会が11月18日（土）、若林体育館で開催された。若林体育館 館長阿部訓之様写真左は「日頃か



ブスマッシュ・インナー打ち・クロス打ち・バック打ち・スライス等などやってみせるやらせるの反復で行い後半に試合形式で実戦を行った。参加者からは「テイクバックから体幹を使った思い切りこすり上げるスマッシュが一番の収穫」。「ボールが軽いのでパワーの必要性を実感した」等など収穫があったようだ。



冬季大会



連坊A - 松陵A 男子W戦

仙台市ミニテニス

協会冬季大会

令和6年1月14日
(日) 仙台市体育館で開催された。

今年一番の厳寒、暖房完備の体育館は短パン姿の選手も多く和やかな雰囲気の中、朝9:00一斉に手慣れた手順でコート設営。

開会式では、競技委員長から試合進行等などの説明があった。

試合は部制による1部〜4部。コロナ過の中、医療従事者等々を考慮した昇降格無しも今大会が最後。

選手たちはミニテニス特有の技を駆使しての攻防に、応援団から「いけいけ・ナイスプレイ・ドンマイドンマイ・ガンバレ」などが飛び交い館内はあたたかい雰囲気になっていました。



熱戦展開



開会式での 競技説明



仙台市ミニテニス協会説明会



令和6年度説明会が2月3日、若林市民センターで開催され、協会運営・大会運営など詳しく説明。出席者も納得の様子。終了後恒例の新年会も大盛況人同士の繋がりが一層深まった。

仙台市S&L春季大会



仙台市ミニテニス協会 S&L 春季大会に118名がエントリー、22チームに編成、6ポイント2セットマッチ各チーム6試合を行った。切磋琢磨の中好プレーや珍プレーに応援団から、「ドンマイどんまい・ナイスプレー」などの声援が飛び交っていた。

